

Web/SNMP カード ファームウェア更新のお知らせ

日頃は、弊社製品をご愛用いただきまして誠にありがとうございます。
この度、GX シリーズ用 Web/SNMP カードのファームウェアの一部を更新致しました。

【更新内容】

更新 1	Netshut(OS シャットダウンソフトウェア)への対応を追加しました。
更新 2	バックアップ可能時間の設定変更機能を追加しました。
更新 3	定格電圧の設定(表示のみ)機能を追加しました。

【対象製品】

Web/SNMP カード RRACWG04
UPS M-UPS***ADS、M-UPS***AD1 GX シリーズ

【更新1】

本製品の添付されているライセンスは Netshut 専用です。旧 OS シャットダウンソフトウェア(RCCMD)を新規にご使用される場合は、別途ライセンスを購入して頂く必要があります。

本製品には旧 OS シャットダウンソフトウェア(RCCMD)は添付されていません。旧 OS シャットダウンソフトウェア(RCCMD)をご使用される場合は、弊社ホームページよりダウンロードして頂く必要があります。

Netshut への対応追加に伴い、旧ファームウェアでは RCCMD 設定の名称から、OS シャットダウン設定に名称が変更されました。名称は変更されましたが、旧ファームウェアで RCCMD を使用している場合はその設定が引き継がれ、継続して使用する事が可能です。

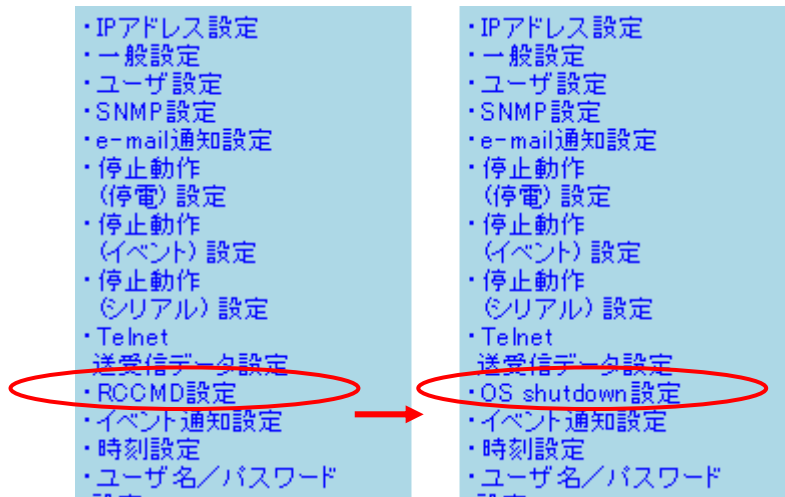


図 1

また、OS シャットダウン設定(旧 RCCMD 設定)に Netshut と旧 OS シャットダウンソフトウェア(RCCMD)の選択とポート番号の設定機能(Netshut を選択時のみ使用可能)を追加しました。

OSシャットダウン実行先PCのIPアドレスと遅延時間の設定

プログラム	IP Address	ポート番号	遅延時間	テスト
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	-	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行
Netshut ▼	0 . 0 . 0 . 0	7006	0 秒	テスト実行

出力停止遅延時間は以下の設定になっています。

- ・停電検出時 : 180秒
- ・イベント発生時 : 180秒

上記遅延時間の設定は設定は出力停止遅延時間より短くして下さい。

設定 キャンセル

注) OSシャットダウンではWeb/SNMPカードからサーバやパソコンへシャットダウンを実行させるトリガをTCP/IPで発信しますが指定されたマシンでNetshutまたはRCCMDサービス(デーモン)をインストール、実行していません。

図 2

プログラム

OS シャットダウンを実行するソフトウェアを選択します。デフォルトでは Netshut が有効となります。旧ソフトウェアを使用する場合は本設定値を変更して下さい。旧ファームウェアにて RCCMD の設定が有効な場合、ファームウェア更新後には自動でプログラムは RCCMD が選択されている状態となります。

ポート番号

シャットダウン信号の送信先ポートを設定します。 のプログラムで RCCMD が選択されている場合はポート番号の変更は出来ません。(6003 固定となります。)

【更新2、更新3】

管理画面の一般設定にバックアップ可能時間の設定と定格電圧設定が追加されました。

管理画面[一般設定]

型式名: **M-UPS010AD-100**

接続機器名:

定格容量: **1000 VA**

定格出力: **700 W**

オートログアウト: 分間無操作の時、初期認証・モニタ画面に戻ります。

バックアップ可能時間の設定

定格負荷時のバックアップ可能時間 分

・増設バッテリーを使用している場合のみ変更して下さい。

定格電圧の設定

入力定格電圧 V

出力定格電圧 V

・表示のみ定格電圧の変更を行います。UPSの出力は変更されません。
・対応UPS以外は変更できません。

図 3

定格負荷時のバックアップ可能時間

増設バッテリーを使用している場合にのみ変更して下さい。変更するとUPSのバックアップ可能時間が延長されます。増設バッテリーを使用時以外でこの値を変更した場合、予期しないシャットダウンが行われる可能性があります。

定格入力電圧設定

UPSの入力電圧値の定格電圧を設定します。この設定値は表示のみ(Web画面・データログ等)変更されるためUPSの設定は変更されません。また、対応UPS以外の場合は設定の変更は出来ません。

定格出力電圧設定

UPSの出力電圧値の定格電圧を設定します。この設定値は表示のみ(Web画面・データログ等)変更されるためUPSの設定は変更されません。また、対応UPS以外の場合は設定の変更は出来ません。

定格出力電圧設定を変更した場合、変更したタイミングで以下の値が変更されます。

変更箇所	項目	備考
モニタ画面	入力電圧	例) 200 100
	出力電圧	例) 200 100
イベントログ	商用電源異常発生	商用電源異常発生 / 電圧 200V 周波数 0Hz
		商用電源異常発生 / 電圧 100V 周波数 0Hz
データログ	入力電圧	例) 200.0 -> 100.0
	出力電圧	例) 200.0 -> 100.0
E-mail	イベント内容: 商用電源異常発生	商用電源異常発生 / 電圧 200V 周波数 0Hz
		商用電源異常発生 / 電圧 100V 周波数 0Hz
MIB	OID=1.3.6.1.2.1.33.1.3.3.1.3.1 (upsInputVoltage)	例) 200 100
	OID=1.3.6.1.2.1.33.1.4.4.1.2.1 (upsOutputVoltage)	例) 200 100
	OID=1.3.6.1.4.1.1356.1.3.1.0 (upsInputLineVoltage)	例) 200 100
	OID=1.3.6.1.4.1.1356.1.4.4.0 (upsOutputVoltage)	例) 200 100
	OID=1.3.6.1.4.1.4550.1.1.3.3.1.3.1 (jemaUpsInputVoltage)	例) 200 100
	OID=1.3.6.1.4.1.4550.1.1.4.4.1.2.1 (jemaUpsOutputVoltage)	例) 200 100

初期値

設定を初期値に戻します。定格負荷時のバックアップ可能時間および定格電圧設定のデフォルト値は使用している UPS によって異なります。

以上